

# 2024年度事業報告

## 主な経済動向

### (1) 日本経済の動向

2024年の日本経済は、名目GDPの拡大や賃金、物価、金利の上昇が続き、デフレからの脱却が進んでいます。具体的には、3月にマイナス金利を終了し、日経平均株価は史上最高値を更新、春闘賃上げ率はバブル期以来の伸びを記録するなど、幅広い分野でインフレ経済への回帰が見られています。また、実質賃金の上昇や訪日インバウンドの増加が消費活動を後押しする一方で、賃金コストの上昇や輸出企業の収益改善の鈍化などのリスクも存在しています。

### (2) 北海道経済の動向

本道経済においては、財やサービス価格の上昇から需要回復に停滞感が見られるものの、公共投資や設備投資、コロナ禍前の水準を回復したインバウンドの増加などが成長をけん引しています。国家プロジェクトであるRapidusの製造拠点ではEUV露光装置が搬入され着実に整備が進んでいるほか、北海道・札幌「GX金融・資産運用特区」の認定などにより、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを有する北海道が、GX産業の適地として国内外から注目されようとしています。

### (3) 北海道機械工業会の取組

このような情勢のもと、当会では、経済産業省や北海道などからの委託業務を受託して、関係機関や団体、会員の皆様との連携を図りながら、技術力や生産性の向上対策、受注拡大対策、技術系人材の育成・確保対策などの各種事業を展開して参りました。

特に、道内ものづくり企業の次世代自動車関連分野への参入に向けて、EVの最新技術開発動向に関するセミナーや、電気自動車を分解してその構造などを学ぶ実地研修を実施したほか、航空機関連産業分野では、特有の品質管理に向けた認証取得支援とともに、道内ものづくり企業の新たな取引の契機とするべく6年ぶりに開催された航空宇宙分野の大型国際展示商談会に出展するなど、会員企業が新たな分野へ事業を拡大するための各種支援に努めて参りました。

また、ものづくり企業の現場改善に向けては、ものづくり企業に専門家を派遣して生産管理や品質管理といった課題の解決に向けた支援や、工程管理の基本や現場改善手法を学び生産性向上に役立てていただく在職者訓練などに取り組んできました。

さらに、人手不足にある企業が多いことから、会員企業の求人情報を首都圏や関西圏などのUIターン就職希望者に情報提供して、技術系人材を求めている会員企業への支援に努めてきたほか、理工系人材の道内ものづくり企業への就職を促進するため、工業高等専門学校や工業高校の生徒・保護者を対象に工場見学会や出前授業を実施するなどして、会員企業をはじめとする道内機械工業とその関連産業の発展に努めて参りました。

## I. 諸会議等

会 議 名	開 催 日	内 容
総 会（定時）	2024 年 5 月 29 日	・2023年度事業報告(案)・収支決算報告(案)の審議等 ・役員の改選等
理 事 会	2024 年 5 月 14 日 2024 年 5 月 29 日 2025 年 3 月 24 日 (ハイブリッド)	・2023年度事業報告(案)・収支決算報告(案)の審議等 ・会長・副会長・専務理事の選任 ・2024年度収支予算の変更及び2025年度事業計画(案)及び収支予算(案)等の審議
正 副 会 長 会 議	2024 年 5 月 14 日 2024 年 5 月 29 日 2024 年 10 月 8 日  2025 年 1 月 21 日  2025 年 2 月 27 日(Web) 2025 年 3 月 24 日	・2023年度事業報告(案)・収支決算報告(案)の審議等 ・定時総会などの進め方について等 ・定時総会後の主な追加事業と収支予算の変更等及び支部長との意見交換 ・紙資料の削減とWebの活用について ・「旅費規程」の見直しについて ・2024年度決算見込みについて ・2025年度事業計画(案)及び収支予算(案)の審議等 ・派遣元との懇談会
総 務 委 員 会	2024 年 5 月 9 日 2024 年 10 月 30 日 2025 年 3 月 24 日	・2023年度事業報告(案)・収支決算報告(案)の審議等 ・2024年度事業計画及び収支予算の変更(案)等 ・2025年度事業計画(案)及び収支予算(案)の審議等
受 注 拡 大 対 策 委 員 会	2024 年 10 月 29 日 2025 年 2 月 13 日 2025 年 3 月 24 日	・ほっかいどう受発注拡大商談会(札幌市) ・胆振ものづくり産業取引促進協議会(室蘭市) ・委員会会議(2024 年度事業報告、2025 年度事業計画)
交 流 推 進 委 員 会	2024 年 7 月 3 日  2024 年 10 月 16 日  2025 年 3 月 24 日	・北海道バイオ工業会・北海道発明協会との合同視察会の開催 ①(株)久原本家北海道 恵庭工場 ②防衛装備庁 千歳試験場 ・北海道バイオ工業会・北海道発明協会との合同視察会の開催 ①北海道キッコーマン(株) 千歳工場 ②ゴールドバック(株) 恵庭工場 ・委員会会議(2024年度事業報告、2025年度事業計画)

## ◎支部活動

	総 会	例会・役員会	講習会 講演会	視察会 見学会	そ の 他
札 幌	5/29	例 会:6/26 役員会:5/14	講習会:12/19	道外視察会 11/5～6	新年交礼会:1/23
小 樽	6/25	役員会:4/15、4/23、9/11	講演会:11/18	10/30	支部長表彰:3/1 (小樽未来創造高等学校優秀生徒)
函 館	6/7	役員会:5/9	な し	なし	情報交換会:11/16
室 蘭	5/15	役員会:4/5	講習会:3/21	11/18	QC サークル北海道室蘭大会 (後援):10/18 北海道生産性本部室蘭地区支部 セミナー(後援):2/28
苫小牧	5/8	役員会:3/6	講習会:11/12 講演会:5/8	なし	

	総 会	例会・役員会	講習会 講演会	視察会 見学会	そ の 他
空 知	5/22	例 会:8/23 役員会:7/17,7/27,9/9	講演会:8/23	10/23	正副会長・支部長連絡会議:10/8
旭 川	5/21	役員会:3/25	講演会:2/4	11/14～17	旭川鉄工親睦ゴルフコンペ:7/6
北 見	5/23	役員会:5/8	講習会:9/3,9/4, 12/5～6	11/21～22	
帯 広	4/22	役員会:4/17	講習会:1/30～31, 2/13,2/18,3/4,3/25 講演会:7/16,3/12, 3/17	10/24	発明相談会 (12 回) (帯広発明協会共催)
釧 路	5/23	役員会:4/11	講演会:11/20	なし	釧路鉄工協会と交流会:8/31

## Ⅱ. 技術力向上対策事業

### 1. 企業化支援事業

#### (1) 自動車関連工業育成

- ① 地場企業の自動車関連産業への参入を促進するためのコーディネート機能を構築
- ② 取引希望企業等への情報提供

#### (2) 情報の収集提供及び業況動向調査の実施

- ① 行政等の機械工業振興策などの各種情報を収集し、会報やメールマガジン等で随時会員に提供
- ② 業況動向調査：会員企業の業況動向調査を実施(年4回)

### 2. 各種技術セミナー

#### (1) 2024ものづくり基礎技術セミナー「脱炭素社会に向けた「水素」の可能性は」

- ① 日 時：2024年6月25日(火) 15:00～17:00
- ② 会 場：北農健保会館 3F 大会議室(札幌市中央区北4条西7丁目)  
\*オンラインセミナー同時開催
- ③ 参 加 者：64名(オンライン参加者、講師、関係者含む)
- ④ プログラム：
  - 1)『カーボンニュートラルの実現に向けた水素の利活用の動向』  
(株)産学連携機構九州(九大 TLO)シニアフェロー 秋葉 悦男 氏
  - 2)『道内の地域資源を活用した多様な水素製造方法の紹介』  
エア・ウォーター(株) エネルギーソリューショングループ  
グリーンイノベーションユニット長 末長 純也 氏

#### (2) 2024ものづくり基礎技術セミナー in 帯広「ものづくりにおける生産性向上の進め方」

- ① 日 時：2024年7月16日(火) 18:00～19:30
- ② 会 場：十勝産業振興センター 大会議室(帯広市西22条北2丁目23-9)
- ③ 参 加 者：24名(講師、関係者含む)
- ④ プログラム：『ものづくりにおける生産性向上の進め方』  
堀口 敬 氏(堀口ビジネスコンサルティング 代表)

#### (3) 北海道機械工業会&室蘭工大 コラボによる高度技術セミナー 「進化する AM 技術(3Dプリンタ)の最新動向と活用事例」

- ① 日 時 : 2024年12月19日(火)13:30 ~ 16:40
- ② 会 場 : 北農健保会館 3F 大会議室(札幌市中央区北4条西7丁目)  
\*オンラインセミナー同時開催
- ③ 参 加 者 : 49名(オンライン参加者、講師、関係者含む)
- ④ プログラム :
- 1) 『AM技術で地方のものづくりを活性化』  
室蘭工業大学 もの創造系領域 機械ロボット工学ユニット 准教授 楠本 賢太 氏
  - 2) 『ワイヤレーザ DED 方式金属3D プリンタの最新技術・活用事例』  
三菱電機株式会社 FA システム事業本部 産業メカトロニクス事業部 Chief Expert 小川 元 氏
  - 3) 『金属 AM 造形材の鋳造分野への応用と新規多孔質構造の開発』  
株式会社 IHI 技術開発本部 技師長 根崎 孝二 氏

### 3. 第38回北海道技術・ビジネス交流会

- (1) 会 期 : 2024年11月 7 日～8 日(2日間)
- (2) 会 場 : アクセスサッポロ
- (3) 交流会内容 : 交流商談会・技術情報展示会・ビジネスセッション
- (4) 出 展 数 : 308企業・団体・大学・研究機関(うち当会会員 11 社・機関)
- (5) 入 場 数 : 21,261名

### 4. TPM事業及びQCサークル大会

- (1) (公社)日本プラントメンテナンス協会(JIPM)と共催で実施している「北海道モノづくり・保全研究会」では、設備管理等に関する情報提供を行いました。
- (2) QCサークル北海道支部大会(第6562回(7/19 千歳)、第6586回(10/18 室蘭)、第6608回(1/24 札幌))が開催されました。当会が後援するとともに、当会のメルマガ等にて参加の呼びかけを行い、QC 活動の普及に努めました。

### 5. 産業技術開発促進事業

技術の向上等を図るため、本部、支部、部会がそれぞれ次表のとおり積極的に技術講習会、講演会、セミナー、視察見学会等を開催しました。

#### ○ 技術講習会

実施区分	開催期日	テ ー マ	講 師	受講者数
札幌支部	2024.12.19	進化する AM 技術(3D プリンタ)の最新動向と活用事例	室蘭工業大学 工学部准教授 楠本 賢太氏ほか	会場・オンライン計 41 名
室蘭支部	2025. 3.21	「企業価値を上げる～顧客、価値、DXを考える」	東京大学先端科学技術研究センター 西岡 潔 氏	9 名
苫小牧支部	2024.11.12	移動工業試験場 in 苫小牧 ①高出力レーザーを用いた材料加工技術について ②施設のエネルギーマネジメント ③地下水熱利用ヒートポンプシステム導入プロセス ④水処理技術の基礎概論	①道総研 櫻庭主査 ②道総研 白戸研究主幹 ③道総研 白戸研究主幹 ④道総研 佐々木研究主幹	19 名

実施区分	開催期日	テーマ	講師	受講者数
北見支部	2024.9.3	RaspberryPI Pico によるマイコン制御研究会	(株)飛雁 代表取締役 福田和宏 氏	7 名
	2024.9.4	生成AI技術研修会	(株)飛雁 代表取締役 福田和宏 氏	8 名
	2024.12.5～6	PLC 制御の回路技術研修会	ポリテクセンター旭川 職業訓練指導員大森大地 氏	6 名
帯広支部	2025. 1.30 ～31	クレーン運転(5t未満) 特別教育講習会	RST トレーナー 楠茂 政則 氏	34 名
	2025. 2. 13	自由研削砥石取替 特別教育講習会	RST トレーナー 楠茂 政則 氏	24 名
	2025. 2.18	粉じん作業特別教育講習会	RST トレーナー 楠茂 政則 氏	13 名
	2025. 3. 4	フルハーネス型墜落制止用器具 使用作業特別教育講習会	RST トレーナー 楠茂 政則 氏	38 名
	2024. 3.25	刈払機取扱作業安全衛生 教育講習会	RST トレーナー 楠茂 政則 氏	16 名
鉄骨部会	2024. 6. 10 ～11	建築鉄骨超音波検査技術者 学科講習会	札幌インスペクション(株) 技術部長 廿日岩 健一 氏 他	16 名
	2024. 6.13 ～14	建築鉄骨製品検査技術者 学科講習会	北榮興業(株) 工務部 工務課 課長 辻本 薫 氏 他	36 名
	2024. 8.22 ～ 2 3	鉄骨製作管理技術者 受験対策講習会(1級)	(株)北川組鉄工所 執行役員統括部長 水木 浩二 氏 他	51 名
	2024. 8.26 ～27	鉄骨製作管理技術者 受験対策講習会(2級)	(株)竹原鉄工所 取締役統括部長 佐藤 弘信 氏 他	15 名
検査部会	2024. 4.23 ～24	磁気レベル2(MT2)実技講習	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏 他	8 名
	2024. 4.26	浸透レベル2(PT2)実技講習	札幌インスペクション(株) 部長 中島 博之 氏 他	7 名
	2024. 4.23 ～26	超音波レベル2(UT2)実技講習	(株)札幌工業検査 課長 永井 克典 氏 他	11 名
	2024. 6.25 ～26	磁気レベル2(MT2) 事前トレーニング	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏 他	4 名
	2024. 6.27 ～28	浸透レベル2(PT2) 事前トレーニング	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏 他	14 名
	2024. 7.2 ～ 4	超音波レベル2(UT2) 事前トレーニング	(株)札幌工業検査 課長 永井 克典 氏 他	15 名
	2024. 7.23	磁気レベル2(MT2)実技講習	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏 他	6 名
	2024. 7.25 ～26	浸透レベル2(PT2)実技講習	札幌インスペクション(株) 部長 中島 博之 氏 他	16 名
	2024. 7.30 ～8.2	超音波レベル2(UT2)実技講習	(株)札幌工業検査 課長 永井 克典 氏	11 名

実施区分	開催期日	テーマ	講師	受講者数
検査部会	2024. 8.20 ～21	磁気レベル2(MT2)学科講習	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏	2 名
	2024. 8. 22 ～23	浸透レベル2(PT2)学科講習	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏	16 名
	2024. 8.29 ～30	超音波レベル2(UT2)学科講習	(株)札幌工業検査 課長 永井 克典 氏	14 名
	2024.10.23	磁気レベル2(MT2)実技講習	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏 他	4 名
	2024.10.24 ～25	浸透レベル2(PT2)実技講習	札幌インスペクション(株) 技術顧問 阿部 道也 氏 他	16 名
	2024.10.22 ～25	超音波レベル2(UT2)実技講習	(株)札幌工業検査 課長 永井 克典 氏 他	9 名
	2024.12.3 ～4	磁気レベル2(MT2) 事前トレーニング	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏	4 名
	2024.12.5 ～6	浸透レベル2(PT2) 事前トレーニング	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏	3 名
	2024.12. 10 ～12	超音波レベル2(UT2) 事前トレーニング	(株)札幌工業検査 課長 永井 克典 氏	10 名
	2025. 1.23 ～24	浸透レベル2(PT2)実技講習	札幌インスペクション(株) 部長 中島 博之 氏 他	17 名
	2025. 1.21 ～24	超音波レベル2(UT2)実技講習	(株)札幌工業検査 課長 永井 克典 氏	5 名
	2025. 2. 4 ～5	磁気レベル2(MT2)学科講習	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏	4 名
	2025. 2. 6 ～7	浸透レベル2(PT2)学科講習	(一社)北海道機械工業会 検査部会 技術顧問 阿部 道也 氏	6 名
	2025. 2.12 ～13	超音波レベル2(UT2)学科講習	(株)札幌工業検査 課長 永井 克典 氏	14 名
技術講習会等合計		38回		549 名

○ 講演会・セミナー

実施区分	開催期日	テーマ	講師	受講者数
小樽支部	2024.11.18	これからの若年者採用のヒントと 定着のポイント	キャリアフォローアカデミー(株) 代表取締役 藤塚祐子 氏	15 名
苫小牧支部	2024. 5. 8	学生フォーミュラーについて	苫小牧工業高等専門学校 特命准教授 金子友海 氏	25 名
空知支部	2024. 8.23	トヨタ自動車北海道の勤務体験談 について	元トヨタ自動車北海道(株) 専務取締役工場長 寺島靖彦 氏	49 名

実施区分	開催期日	テ ー マ	講 師	受講者数
旭 川 支 部	2025. 2. 4	生成AIセミナー「中小企業×Chat GPT 未来を創る業務効率化」	(株)富貴堂ユーザック 妹尾飛翔 氏	58 名
帯 広 支 部	2024.7.16	①ものづくり基礎技術セミナー2024 「ものづくりにおける生産性向上 の進め方」	①堀口ビジネスコンサルティング 代表 堀口 敬 氏	25 名
	2025.3.12	②5S 研修会 「5S からはじまる現場の改善」	②(株)土谷特殊農機具製作所 土谷祐二 氏	30 名
	2025.3.17	③合同研修会 「脱炭素経営のすすめ」	③北海道経済産業局:櫻庭綾子氏 北海道:森田裕規氏 (株)巴計画事務所:佐々木明宏 氏	17 名
釧 路 支 部	2024.11. 20	「本気でやらあかん！」 ～私が覚悟を決めた理由(わけ)～	(株)山田製作所 代表取締役会長 山田 茂 氏	49 名
自 動 車 関 連 部 会	2025. 2. 6	民間によるロケット開発の現在地と 将来像	インターステラテクノロジズ(株)事業 開発部コミュニケーション&ブランド グループ Specialist 中神美佳 氏	35 名
表 面 処 理 機 械 製 缶 電 機 電 子 (3部会合同)	2024.12.5	ラピダスは本当に大丈夫？ 懸念から読み解く北海道経済	北海道新聞経済部編集員 宇野澤 晋一郎氏	25 名
検 査 部 会 鉄 骨 部 会 (共 催)	2025. 2.28	第 45 回「検査技術研究会」 (基調講演/最新機器紹介等)	・道央建鉄(株) 管理部 福川直樹 氏 ・日本製鋼所M&E(株)ES機器部 鈴木佑基 氏  ・トーレック(株) ・ブルーイノベーション(株) ・(株)北海道共創パートナーズ	50 名
講 演 会 合 計		11 回		378 名

## ○ 視察会・見学会

実施区分	開催期日	視 察 ・ 見 学 先	参加者数
小樽支部	2024.10.30	①カワテックス(株)岡山工場 ②ソメスサドル(株) ③(株)シロ みんなの工場	19 名
室蘭支部	2024.11.18	①トヨタ自動車北海道(株) ②北海道キックコーマン(株) ③(株)JAL エンジニアリング	10 名
空知支部	2024.10.23	旭川地区 ①カンディハウス(株) ②上原ネームプレート(株)	11 名
旭川支部	2024.11.14 ～17	香川県高松市、徳島県徳島市	12 名

実施区分	開催期日	視察・見学先	参加者数
北見支部	2024.11.21 ～22	苫小牧・室蘭地区視察研修会 ①アイシン北海道㈱ ②㈱永澤機械 ③日本製鉄㈱北日本製鉄所	9名
帯広支部	2024.10.24	①ヤスダファインテ㈱芽室工場 ②北海道製鎖㈱音更工場	9名
表面処理部会	2025. 3.12 ～14	道外視察会(沖縄県) ①JTA 日本トランスオーシャン航空㈱ ②拓南製作所㈱ ③米軍嘉手納基地(道の駅かでな) ④首里城 復興工事現場	8名
機械製缶部会 (札幌支部合同)	2024.11.5 ～6	道外視察会(東京地区) ①日本国際工作機械見本市(JIMTOF2024)(東京ビッグサイト) ②(株)桂川精螺製作所(東京都大田区)	14名
電機電子部会	2025.3.12 ～14	道外視察会(兵庫県・大阪府)①川崎重工業(株)神戸工場 ②三菱電機(株)神戸工場 ③サントリー山崎蒸留所	8名
自動車関連部	2024.11.19 ～23	海外視察会(タイ王国:バンコク) ① サイアム・トヨタ・マニユファクチャリング ② デンソータイランド パンパコン工場 ③ 豊田通商 NEXTY Electronics ④ TOYOTA LIBRA ⑤ 味の素タイランド ノンケー工場	17名
視察会等 合計		10回	117名
技術講習会等 総計		59回	1,044名

### Ⅲ. 受注拡大対策

#### 1. 広域商談会等の開催

(1) 会員企業の受発注を拡大するため、「ほっかいどう受発注拡大商談会」を開催しました。

主催: (一社)北海道機械工業会、  
(公財)北海道中小企業総合支援センター  
開催日: 2024年10月29日  
場所: 札幌パークホテル(札幌市)

参加企業	発注企業	48社 (内会員 8社)
	受注企業	92社 (内会員28社)
商談件数		342件
取引の可能性あり		284件
取引の可能性なし		58件

(2) 胆振地方を主体とする企業が航空宇宙産業や半導体関連産業をはじめとした新分野への取引を始める契機とするため、道内外から発注企業を募り、新規取引先開拓等の促進を図ることを目的に「胆振ものづくり産業取引促進商談会」を開催しました。

主催: 北海道胆振振興局  
共催: (公財)道央産業振興財団  
後援: (一社)北海道機械工業会、室蘭市ほか  
開催日: 2025年2月13日  
場所: 蓬峽殿 (室蘭市)

参加企業	発注企業	21社 (内会員 7社)
	受注企業	48社 (内会員18社)



## 2. 次世代半導体産業プラットフォームへの参画

ラピダス社の調達業務に関して、会員企業の情報提供や各種取りまとめを行いANIC(一般社団法人北海道新産業創造機構)との連携を図っています。

## 3. 北海道自動車産業集積促進協議会への参画

道内企業の自動車関連産業への参入促進を図るため、当協議会に参画し、共同事業の実施や運営協力を行いました。

## 4. その他の事業

### (1) ホームページの整備

① トップページのアクセス件数: 26, 583件 (月平均 2, 215件)

[前年度比: 月平均201件(約10. 0%)の増加]

② アクセスユーザー(7, 034人)の地域別上位

#### ■ 国 別

[1位]日本 6, 200人(88. 1%) [2位]アメリカ 469人(6. 7%) [3位]中国 167人(2. 4%)

#### ■ 都道府県別

[1位]北海道 42. 6% [2位]東京 25. 8% [3位]大阪 3. 9%

### (2) メールマガジンの発行

機械工業会会員企業をはじめ関係機関、団体等に対し、メールマガジンを概ね週に 1 回送信し、ものづくり関連の企業経営に役立つと思われる幅広い各種情報や、機械工業会が取り組む事業の情報などを提供しました。

■ 年間発行件数24回 (送付アドレス件数: 1, 062件/回)

### (3) Facebook ページの運営

SNS(ソーシャルネットワークサービス)の普及を踏まえ、北海道機械工業会のアカウントを作成し平成29年8月より記事の投稿を実施しました。ホームページと連動した投稿により、情報発信の迅速化、効率化を図ることができました。

<https://www.facebook.com/HokkaidoKogyokai/>

### (4) 展示商談会への出展

道外の展示商談会に出展し、当会の会員企業の紹介や事業のPRを行いました。

#### 1) 「ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2024」

開 催 日 : 2024年11月29日(金)～30日(土)

会 場 : ビッグパレットふくしま

主 催 : 福島県

#### 2) 「WIND EXPO 国際風力発電展」

開 催 日 : 2025年2月19日(水)～21日(金)

会 場 : 東京国際展示場(東京ビッグサイト)

主 催 : JWPA(一般社団法人 日本風力発電協会)

## IV 交流推進事業

### (一社)北海道バイオ工業会、(一社)北海道発明協会との交流事業

(一社)北海道バイオ工業会及び(一社)北海道発明協会との共同開催で、下記内容の視察会を開催しました。

開催日：2024年7月3日(水) 12:30～20:30 (懇親会 17:30～19:30)

参加者：29名(うち当会18名)

視察先：①(株)久原本家北海道 恵庭工場  
② 防衛装備庁 千歳試験場

開催日：2024年10月16日(水) 13:00～20:30 (懇親会 17:30～19:30)

参加者：26名(うち当会17名)

視察先：① 北海道キッコーマン(株) 千歳工場  
② ゴールドパック(株) 恵庭工場

## V. 人材確保対策事業

北海道発明工夫教育連盟の取組に参画したほか、「北海道若年技能者人材育成支援等事業連携会議(事務局:北海道職業能力開発協会)」の取組に参加しました。

人手不足が深刻化する中、会員の求人情報を当会のHPにアップし、全国に情報発信するとともに、求人情報誌を作成し、UIターン・移住イベントや「NPO法人ふるさと回帰支援センター」(東京都)などを通じて、当会の求人情報を提供する取組を実施しました。

## VI. 労働管理意識の高揚

労務管理等に関する各機関・団体等が実施する研修会やセミナー等の情報を、会報やメールマガジン等により、随時会員に提供しました。

## VII. 異業種交流活動の促進

機械工業会に事務局を置いている異業種交流団体の活動

団 体 名	会議・会合名	開催期日
TCプラザ'21 ※ 2024年11月6日をもって 解散いたしました。	総 会	6/3
	例 会	7/5、8/26
	視 察 会	9/4～5
	解 散 式	10/29

## VIII. ポリテクセンター北海道委託事業の実施

事業名:2024年度「生産性向上支援訓練」

委託期間:2024年7月4日 ～ 7月24日

(独法)高齢・障害・求職者雇用支援機構(ポリテクセンター北海道)と連携し、生産性向上支援のための訓練を開催しました。

本年度は、「工程管理入門」をテーマとして、実際の動画・事例を交えながら工程管理の基本や現場改善手法等を学び、自社の現場での生産性向上に役立てていただく内容を実施しました。

## ■ 訓練実施内容

訓練コース：生産性向上支援訓練  
コース名：「わかる！使える！即実践！ 工程管理入門」  
講師：堀口 敬 氏(堀口ビジネスコンサルティング代表)  
日時：2024年7月4日(木)、11日(木)、24日(水) 13:30～17:30  
場所：北海道職業能力開発促進センター(ポリテクセンター北海道) 1階 大会議室ほか  
受講者数：20名  
訓練の概要：① 工程管理の基本 ～生産計画作成の演習～  
② 現場改善 ～動画を見ながらの現場改善演習～  
③ 生産性を上げる ～様々な事例を使つての生産性分析演習～

## IX. 国・北海道委託事業の実施

事業名:ものづくり産業分野人材確保支援事業(専門家派遣、成功事例創出)  
実施期間 2024年5月21日～2025年2月28日

### 1 事業の目的

本事業は、本道のものづくり産業の中核となる自動車産業等への技術力支援を図ると共に、関連するものづくり産業の振興についての支援に取り組むことを目的としています。

また、こうした専門家の派遣により、新規参入や生産性の向上、販路拡大などに繋がった事例を広く周知する成果発表会を開催することで、経営者の参入意欲喚起を図り、道内ものづくり産業全体の競争力の底上げにつなげ、良質で安定的な正社員雇用の創出及び定着を図ることを目的とします。

### 2 事業の概要

本事業では自動車産業や食品機械産業への参入を目指す道内企業の課題に対して、自動車関連産業や道内ものづくり産業に精通し、関連技術の目利きができる「技術力強化マネージャー」と自動車関連企業OBなどの技術専門家による「技術力強化エキスパート」がチームを組み、企業の課題解決に向けた取り組みを、戦略的、かつきめ細やかに支援します。

#### (1) 技術力強化エキスパートによる企業派遣指導

派遣にあたっては、企業からの様々な技術ニーズをマネージャーが整理した後、的確な技術を有したエキスパートを選任し、直接企業の現場に派遣し、QCD対応力、生産性向上、技術・製品開発力の強化、さらに顧客企業へのアプローチ力の強化、また自動車関連産業や食関連機械分野への参入に係わる技術力の強化について技術指導を行いました。

#### (2) エキスパート利用企業の調査、掘り起し

派遣企業の新規掘り起こしについては、関連する企業への訪問調査や課題の把握を行うとともに、当会が主催する商談会、セミナー、研修会などの機会を利用し、リーフレットの配布や事業紹介を行い周知に努めました。

#### (3) 技術力強化成果発表会の開催

本事業では、得られた成果を道内ものづくり企業にフィードバックして、経営者の意欲喚起を図り、更なる事業展開を図ることを目的に「成果発表会」を札幌市内にて開催しました。

事業概要の説明、当事業エキスパートによる基調講演、さらに当エキスパート派遣事業を利用した3企業による成果発表を行いました。

## 2024年度 成果発表会「エキスパート支援による 製品開発及び現場カイゼン」

日 時：2025年2月5日（水）14：00～16：10

場 所：ジョブキタプラザ 6階 会議室

参加者：合計 42名

（会場参加者 26名：関係者、エキスパート含む、オンライン 16名）

内 容：

- 1) 基調講演 「新商品開発の発送とテーマ」  
技術力強化エキスパート 高橋 尚基 氏

### 2) 成果発表

<テーマ>

- ①「DXを活用した工程管理システムの構築」
- ②「結露防止ヒーター『aru(アル)』の開発から販売まで」
- ③「車中泊用家具『バンファニチャー』の開発」

<発表企業>

- (株) 菅製作所  
(株) ナカガワ工業  
(株) 岡田建具製作所

## 3 成果

QCD対応力、生産性向上、製品開発などに対応する10名の技術力強化エキスパートを登録し、企業の要望に合わせて適任者を選任し派遣指導を行いました。エキスパートとマネージャーで構成されたチームによる派遣指導の実施状況は、企業数17社、延べ102回の派遣実績となっています。本年度実施した業種は、金属製品製造業が11社、生産用機械器具製造業が1社、非鉄金属製造業が1社、その他の製造業が3社となっています。

事業名:ものづくり産業分野人材確保支援事業(UIターンイベント出展・ものづくり現場見学等)

実施期間 2024年5月21日 ～ 2025年2月28日

## 1 事業の目的

人材不足が深刻化する中、大学生・高専生・高校生の新規学卒者や一般求職者を対象とした道内のものづくり産業の企業見学会を開催するとともに、道外UIターン相談会などのイベントにも参画・出展し、ものづくり産業が就職先の選択肢になるよう人材の確保を図ることを目的とします。

## 2 事業の概要

### (1) 求人情報誌の作成

UIターン希望者に会員企業等から提供のあった求人情報を元に「求人情報誌」を作成し、道外UIターンイベントなどで配付しました。また、初版が好評であったことから掲載企業を増やして第2版を作成し、北海道庁の各道外事務所や東京・大阪のふるさと回帰支援センターへ配付しました。

【第1版】2024年9月発行 / 掲載企業数 60社 / 部数 300部

【第2版】2025年1月発行 / 掲載企業数 75社 / 部数 300部

### (2) UIターン等のイベント出展

道内ものづくり企業への就業を図るため、東京都内などで開催されるUIターンイベントに出展し、来場者の相談内容に応じて、関連企業の業務内容等を情報提供しました。

①北海道移住・交流フェア2024 大阪会場

日 時：2024年9月27日(金)～28日(土)

場 所：OMM展示ホール

来場者数：547名

②北海道移住・交流フェア2024 東京会場

日 時：2024年10月18日(金)～19日(土)

場 所：東京都立産業貿易センター

来場者数：643名

### (3) 工場見学会の実施

工業高校生や新規卒者等の進路に大きな影響力を有する進路指導教師等のほか、一般求職者を対象にものづくりの現場見学を実施し、道内のものづくり産業の「現状」を正しく理解してもらう機会を提供しました。

#### ① 北海道富良野緑峰高等学校

日 時 : 2024年10月 1日(火)  
見 学 場 所 : 北海道住電精密(株)(奈井江町)  
(株)エルムデータ(札幌市)

参加者数 : 生徒8名、教員2名

#### ③ 北海道札幌工業高等学校・北海道札幌琴似工業高等学校(保護者・教員)

日 時 : 2024年11月18日(月)  
見 学 場 所 : (株)協和機械製作所(札幌市)  
(株)中央ネームプレート製作所  
石狩工場(石狩市)

参加者数 : 保護者12名、教員2名

#### ② 北海道札幌工業高等学校

日 時 : 2024年10月31日(木)  
見 学 場 所 : 日本製鋼所M&E(株)室蘭製作所  
(室蘭市)  
(株)ダイナックス(苫小牧市)

参加者数 : 生徒73名、教員4名

#### ④ 旭川工業高等専門学校

日 時 : 2024年11月21日(木)  
見 学 場 所 : 東芝ホクト電子(株)(旭川市)

参加者数 : 生徒34名、教員3名

#### ⑤ 一般求職者

日 時 : 2024年12月2日(月)  
: 日本製鉄(株)北日本製鉄所(室蘭市)  
見 学 場 所 : 日本製鋼所M&E(株)室蘭製作所  
(室蘭市)

参加者数 : 退職予定自衛官など(24名)

#### ⑥ 一般求職者

日 時 : 2024年12月11日(水)  
見 学 場 所 : 三和シャッター工業(株)札幌工場  
(札幌市)  
札幌ボデー工業(株)(札幌市)

参加者数 : 退職予定自衛官など(23名)

### (4) ものづくり展示会「北洋銀行ものづくりサステナフェア2024」の見学会

大学生、高校生など卒業後道外に流出する理由の一つに、生徒・学生が道内のものづくり企業について知る機会が不足していることが学校側から指摘されていることから、札幌近郊の企業が出展した「北洋銀行ものづくりサステナフェア2024」展示会を見学し、職業体験を通して、「仕事の楽しさ・やりがい」、「地元企業の魅力」を知って貰う取組の一環となりました。

日 時 : 2024年7月24日(水)

場 所 : アクセスサッポロ

参 加 校 : 北海道札幌琴似工業高等学校、北海道科学大学 計95名

**事業名:ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業(ものづくり現場見学・出前授業等)**

**実施期間:2024年6月7日 ~ 2025年2月28日**

## 1 事業の目的

人口減少や若者の道外流出等による技術者等の不足といった課題を抱える、ものづくり産業の人材確保・育成を図るため、高校生等を対象とした工場見学バスツアー・出前授業、ものづくり企業で働くことの魅力を伝えるPR動画などを通じて、自動車関連をはじめとするものづくりの魅力を伝えるとともに、次世代自動車への理解を深め、ものづくり企業への関心を高めることを目的とします。

## 2 事業の概要

### (1) ものづくり現場見学の実施

高校生等が、ものづくり現場の魅力を体験できる現場見を実施した。

#### ① 北海道滝川工業高等学校

日 時 : 2024年11月25日(月)

見学場所 : 寿産業株式会社(札幌市)  
株式会社札幌工業検査(札幌市)

参加者数 : 生徒 19名、教員 2名

#### ② 北海道北見工業高等学校

日 時 : 2024年11月26日(火)

見学場所 : 株式会社明治 十勝工場(芽室町)  
東洋農機株式会社(帯広市)

参加者数 : 生徒 34名、教員 2名

#### ③ 北海道函館工業高等学校

日 時 : 2024年12月4日(水)

見学場所 : いすゞエンジン製造北海道株式会社(苫小牧市)

参加者数 : 生徒 40名、教員 2名

### (2) ものづくり企業の従業員による出前授業の実施

ものづくり企業の社員等が講師となり、高校生等にもものづくりの魅力ややりがい伝える出前授業を行った。

#### ① 北海道釧路工業高等学校

日 時 : 2024年11月15日(金)

協力企業 : いすゞエンジン製造北海道  
株式会社(苫小牧市)  
株式会社ニッコー(釧路市)

対象者 : 電子機械科1～2年生79名

#### ② 北海道旭川工業高等学校

日 時 : 2024年11月20日(水)

協力企業 : 松田鉄工株式会社(鷹栖町)  
北海道住電精密株式会社(奈井江町)

対象者 : 電子機械科1年～2年生68名

### (3) ものづくり展示会「北洋銀行ものづくりサステナフェア2024」、「北海道ビジネス EXPO2024」の見学会

大学生、高校生など卒業後道外に流出する理由の一つに、生徒・学生が道内のものづくり企業について知る機会が不足していることが学校側から指摘されていることから、札幌近郊の企業が出展した「北洋銀行ものづくりサステナフェア2024」、「北海道ビジネス EXPO2024」展示会を見学し、職業体験を通して、「仕事の楽しさ・やりがい」、「地元企業の魅力」を知って貰う取組の一環となりました。

#### ① 北洋銀行ものづくりサステナフェア2024

日 時 : 2024年7月24日(水)

場 所 : アクセスサッポロ

参加校 : 北海道職業能力開発大学校、北海道情報専門学校 計51名

#### ② 北海道ビジネス EXPO2024

日 時 : 2024年11月7日(木)

場 所 : アクセスサッポロ

参加校 : 北海道札幌国際情報高等学校 計82名

### (4) ものづくり企業PR動画の作成とPR

高校生等がものづくり企業を就職先として選択するきっかけとなるような、ものづくり企業の魅力をPRする動画を作成し、キャリア教育等を通じて広く視聴されるよう効果的にPRした。

内 容 構 成：○ 若手社員の入社から退社に至るまでの様子など、業務だけでなく職場の雰囲気や就職後の生活イメージを伝える。

○ 事務職、女性職員も対象とし、女子生徒にも身近なイメージを伝える。

○ 仕事のやりがい、入社の決め手、入社して良かったことなども紹介

協 力 企 業：北興化工機株式会社(札幌市)

北海バネ株式会社(小樽市)

株式会社ワールド山内(北広島市)

島本鉄工株式会社(釧路市)

河合鉄工株式会社(帯広市)

P R 方 法：DVDを作成し、道内工業系高等学校に配布

YouTubeにおける、北海道庁公式チャンネルにて配信

**事 業 名:ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業(次世代自動車部品等機能・構造展示研修会、PR冊子作製)**

**実施期間 2024年5月21日～2025年2月28日**

## 1 事業の目的

本事業では、道内自動車部品メーカー等の喫緊の課題である次世代自動車部品等の開発・生産に向け、参入促進に必要とされる支援として現物の部品等を確認しながら行う次世代自動車部品等の機能や構造を学ぶ研修の実施や、道内ものづくり企業をPRする冊子の作成を行うことで、次世代自動車等の環境配慮型産業への参入促進や販路拡大への取組を推進することを目的とします。

## 2 事業の概要

### (1) 次世代自動車部品等機能・構造展示研修会

自動車産業において、車のCASE技術(コネクテッド化、自動化、シェアリング化、電動化)の急速な進展や、カーボンニュートラルへの対応等、大きな変革期を迎えています。こうした自動車産業の構造転換に的確に対応するために、電動化部品等の機能を学ぶ研修会を2回にわたり開催しました。

#### 1) 第1回技術研修会「自動車の電動化動向と課題」

開催日:2024年8月29日(木) 13:30～16:30

会 場:苫小牧市テクノセンター 会議室

講 師:宮城県産業技術総合センター 外部講師 萱場 文彦 氏

自動車産業支援部 産業育成支援班技術主査 平賀 豪 氏

テクニカルプロジェクトコーディネーター 河田 俊彦 氏

参加者:34名(講師・事務局関係者含む)

内 容:1. 車両の電動化の動向 ・コア技術部品の解説

2. 実際の部品を見ながらの部品解説

#### 2) 第2回技術研修会「車両の電動化に伴う補機類の電動化」

開催日:2024年9月12日(木) 13:30～16:30

会 場:苫小牧市テクノセンター 会議室

講 師:宮城県産業技術総合センター 外部講師 萱場 文彦 氏

自動車産業支援部 産業育成支援班 技術主査 平賀 豪 氏

テクニカルプロジェクトコーディネーター 河田 俊彦 氏

参加者:28名(講師・事務局関係者含む)

- 内 容:1. 補機類の電動化の動向、解説  
2. 電動パワーステアリング、電子制御ブレーキ等の解説

### 3 成果

今回、参入促進に必要とされる支援として現物の部品等を確認しながら行う次世代自動車部品等の機能や構造を学ぶ研修会を実施しました。参加者の 75%が次世代自動車部品産業への参入に関心があることから大変有意義な研修会となりました。また、道内ものづくり企業140社を掲載したPR冊子を製作しました。特に道外展示会等で配布し、道内ものづくり企業への販路拡大に活用していきます。

## 事業名:航空機関連産業雇用創造・クラスター拡充事業 (技術講習会、専門個別研修、相談支援)

実施期間:2024年6月18日～2025年2月27日

### 1 事業の目的

本事業は、将来的に大きな需要拡大が見込まれる成長産業である航空機関連分野への参入を促進するため、新規参入を目指す企業の従業員向けの技術講習会、国際的な認証取得や課題解決等のための専門家派遣、専門家による相談支援等を行い道内ものづくり産業の競争力向上を図ることを目的としています。

### 2 事業の概要

#### (1) 技術講座開催

本講座では、参入に関心のある企業を対象に、航空機部品向けの高度な加工技術や生産管理等に関する講習会を全3回の技術講座シリーズで実施しました。

##### 1) 第1回技術セミナー「航空機産業の最新動向」

開催日:2024年6月28日(金) 13:30～15:05

会 場:TKP 札幌ホワイトビルカンファレンスセンター「カンファレンスルーム 4A」

\*オンラインセミナー(Zoom 配信)同時開催

講 師:経済産業省製造産業局航空機部品・素材産業室 室長 西山 正 氏  
エアロコーチ 代表 宮 修一 氏

参加者:27名 (講師・事務局関係者を含む)

プログラム:「航空機産業の最新動向」

1. 航空機産業の現状と目指すべき方向性
2. 最近の航空機産業の動向航空機産業の動向

##### 2) 第2回技術セミナー「航空機産業参入に向けた取り組みと事例について」

開催日:2024年9月26日(木) 13:00～16:00

会 場:株式会社中央ネームプレート製作所 石狩第6工場(石狩市新港西3丁目749-4)

講 師:株式会社スカイワード・オブ・モビリティーズ 大橋 和則 氏

参加者:20名 (講師・事務局関係者含む)

プログラム:1. 新規参入に必要な準備について

2. 航空機産業の現状
3. 航空機内装部品製作工場の見学会
4. パネルディスカッション

「(株)中央ネームプレート製作所の航空機産業参入までの取り組みと事例」

##### 3) 第3回技術セミナー「航空機産業におけるサプライチェーンの動きと新規参入に必要な準備について」

開催日:2024年12月17日(火) 14:00～16:30

会 場:(公財)室蘭テクノセンター 研修室(室蘭市東町4丁目28番1号)



講 師：株式会社スカイワード・オブ・モビリティーズ 大橋 和則 氏  
参加者：30名 （講師・事務局関係者含む）

プログラム：1. 航空機産業の現状  
2. サプライチェーンの動き  
3. 参入に必要な準備  
4. JIS Q 9100 規格の理解新規参入に必要な準備について  
5. パネルディスカッション  
「(株)キメラの航空機産業参入までの取り組みと実例」

## （２）認証取得等の支援

大手重工出身の専門家に委嘱し、JIS Q 9100 の取得支援及び認証維持のための支援を3社行ないました。

- 1) 専 門 家 ： 大手重工出身の専門家
- 2) 支援企業：①(株)中央ネームプレート製作所（札幌市）  
②札幌エレクトロプレイティング工業(株)（札幌市）  
③(株)ワールド山内（北広島市）

## （３）相談支援

### 1) 企業訪問によるヒアリング

相談支援の一環として、道内航空機関連産業企業の課題調査のため、20社に対し企業訪問によるヒアリングを実施しました。航空機関連産業への事業転換や経営多角化といった自社課題の見える化や、航空機関連産業における品質管理の水準に対応するための生産工程のデジタル化、業界特性や道外企業の動向に関する知識不足などの課題に対して、適切なアドバイス等を行いました。

### 2) 専門家派遣による助言・技術指導

企業訪問によるヒアリング結果をもとに、道外航空機関連企業等の専門的な知見が必要と思われる事例（延べ13社）に対して、専門家3名の派遣を行いました。各企業の課題内容に応じて効果的な助言・技術指導を行うことができました。

### 3) 道外航空機関連産業企業へのヒアリング

道内企業訪問時等に情報提供を行う際の基礎資料とするため、道外企業を2社訪問し、航空機関連産業での必要条件（加工技術、品質管理、技術等）や発注ニーズ等に関するヒアリングによる情報収集を実施しました。

## 3 成果

技術講座では、航空機関連品質保証研修機関や航空機メーカーのOBなどに講師を依頼し、企業・産業支援機関を中心に延べ86人（オンライン参加を含む）の参加があり今後の参入に向けた支援を行うことができました。また、JIS Q 9100 の認証取得の支援を行い、道内企業3社へのコンサルタント業務を実施しました。札幌エレクトロプレイティング工業(株)が次年度に認証取得予定となっています。さらに、延べ13社に3名の専門家を派遣し、航空機産業への参入や受注拡大等に向けて、アドバイスを行いました。今後、指導を受けた企業のステップアップが期待されます。

本事業で支援した企業に対しては、ニーズに応じた支援を関係機関と連携しながら引き続き行い、本格的な参入まで支援していくことが重要と考えています。

## 事業名:CASE 対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業

(地域支援拠点運営事業)

実施期間 2024 年4月1日 ～ 2025 年3月 31 日

### 1 事業の目的

自動車業界は、CASE と呼ばれる技術潮流の変化、2050 年カーボンニュートラル宣言に伴う電動化の加速という急激な環境変化にさらされており、これに伴って、中堅・中小自動車部品サプライヤー、特にエンジンやトランスミッション周りのサプライヤーが、電動車向けの部品製造等の新分野に挑戦するといった「攻めの業態転換・事業再構築」の必要性が高まっていることから、自動車産業集積地域においてサプライヤーの経営状況に応じた伴走型の支援を行い、サプライヤーの業態転換・事業再構築を促進します。

### 2 事業の概要

#### (1) 相談窓口「北海道次世代自動車相談センター」の設置・運営

サプライヤーが製造する部品の品目や、現在の経営状況、技術的な強み・弱み、業態転換に向けた検討状況・抱えている課題、サプライヤー自身が考える業態転換の方向性等の情報をヒアリングし、サプライヤーの課題分析を行いました。分析後、検討状況に応じて、実地研修・セミナー等への誘導などの適切な支援策を提供しました。

- 開設時間：平日 9 時～17 時
- 対応方法：メール、電話、Web フォーム
- 相談件数：30 件（27 社）

#### (2) 企業ヒアリング、専門家派遣の実施

自動車部品サプライヤーの現状把握およびサプライヤーの次世代自動車部品転換への課題等の調査を目的とし、道内企業を訪問し、ヒアリング調査を行いました。

- 訪問企業数：26 社

相談窓口での対応や企業ヒアリングを経て、各社の課題に応じた専門家派遣を実施し、各社の持つ課題解決へと支援を行いました。

- 派遣企業数：6 社
- 派遣回数：11 回

#### (3) 電動化に向けた競争力強化セミナーの実施

同業界への参入に関心のある企業を対象に、次世代自動車分野向けの基礎知識や技術課題・今後の潮流予測等の講師やテーマを選定し、「電動化に向けた競争力強化セミナー」と題し、全2回の講座を実施しました。

##### 1) 第1回電動化に向けた競争力強化セミナー

「電動車の最新動向やGX/DXトレンドを踏まえた北海道への期待」

開催日：2024 年10月28日（月）15:00～17:00

会場：北農健保会館 3階 芭蕉 ＊オンラインセミナー（Microsoft teams 配信）同時開催

講師：（株）フォーイン取締役特化領域調査部部长 東 尚史 氏

参加者：32名（講師・事務局関係者を含む）

内 容：GX/DXはサプライチェーンも含む構造転換を自動車産業に迫っています。本セミナーでは、GX/DXの具体的な進捗状況と今後の見通しに触れた上で、北海道の部品産業に期待される役割に紹介されました。

## 2) 第2回電動化に向けた競争力強化セミナー

「脱炭素化の潮流を読み、成功するための手法や具体的事例を紹介」

開催日：2025年1月16日（木）15:00～17:00

会 場：北農健保会館 3階 芭蕉 ＊オンラインセミナー（Microsoft teams 配信）同時開催

講 師：第1部（公財）北九州産業学術推進機構自動車産業支援センター長 中村 聡 氏

第2部 松本工業株式会社取締役 Jmec 本部長 早川 弘幸 氏

参加者：34名（講師・事務局関係者含む）

内 容：第1部 「FAIS の自動車サプライヤー支援や競争力向上に向けた品質マネジメント活動の強化」

第2部 環境変革の時！CNへの挑戦－CO<sub>2</sub>を排出しない溶接レス接合工法の開発－

## （4）実地研修

次世代自動車関連部品業界へ道内ものづくり企業が新規参入を目指すためには、先進地域の電動化に向けての取り組み等を学び、電動化に対応するための事業改革を促進することを目的として、「実地研修」を開催しました。

### 1) ハイブリッド車の部品生産ライン見学・研修会

開催日：2024年9月19日（水） 14:00～16:30

会 場：トヨタ自動車北海道(株)（苫小牧市字勇払145-1）

参加者：44名（事務局関係者、報道関係者を含む）

内 容：1. 会社概要等説明、HV 構造説明等（はすかつぽホール）

2. ハイブリッドトランスアクスル(P510)の生産ラインの見学（第1工場）

3. 安全道場の見学・体験部品見学（第2工場）

### 2) EV 部品分解展示・研修会

開催日：2024年12月3日（火）

場 所：(株)マテック ELV 解体工場（石狩市新港南1丁目22-16）

参加者：37名（事務局・関係者含む）

内 容：1. 「BEVの仕組み及び電動パワートレインの概要説明」

石川 茂明 氏（日産自動車（株）OB）

2. (株)マテック事業概要説明

3. EV部品分解展示の見学・講師による解説

4. (株)マテック解体工場の見学

## 3 成果

本事業では、電動化に伴って業態転換を迫られるサプライヤーに対応するため、相談窓口「北海道次世代自動車相談センター」を設置し、セミナーや実地研修、専門家派遣等の企業支援を実施してきました。電動化に向けた競争力強化セミナーは、延べ66名の方が参加し、実地研修では延べ81名の方が参加しました。

**事業名:国際航空宇宙展を活用した北海道ものづくり企業の販路開拓支援事業  
(共同・協業販路開拓支援補助金事業)**

**実施期間 2024 年 2 月 1 日 ～ 2024 年 10 月 31 日**

**1 事業の目的**

国際航空宇宙展（J A 2 0 2 4）への出展及びその成果を最大化するための市場調査、セミナー開催、営業力強化支援、マッチング支援を行います。また、展示ブースへの集客数を増やすため、バイヤーへの来場依頼等を実施し、さらに、限られた商談機会・商談時間を有効活用するため、事前準備の段階から参画事業者への伴走支援を行うほか、当日は専門家が同席するなど商談を強力にサポートします。

**2 事業の概要**

共同・協業販路開拓支援補助金事業を活用し、2024 国際航空宇宙展（東京ビッグサイト）に道内ものづくり企業 11 社が「北海道航空宇宙ビジネスネットワーク」のブースに出展しました。また、併設された商談会にて、各社が航空機関連のバイヤーと面談を行いました。

開催日：2024 年 10 月 16 日（水）～19 日（土）

会 場：東京ビッグサイト西棟展示場（東京都江東区有明 3-11-1）

参加企業：(株) キメラ、(株) 釧路製作所、(株) 今野鉄工所、札幌エレクトロプレイティング工業(株)、(株) 中央ネームプレート製作所、(株) ディ・ビー・シー・システム研究所、(株) 永澤機械、(株) 西野製作所、(株) ミヤタ技研工業、(株) メデック、(株) ワールド山内

**3 成果**

航空機業界の専門家を招聘し、参画企業が事前に商談資料や展示品などについて出展効果を高めるためのブラッシュアップを実施したことにより、国内の大企業や海外企業をはじめ多くのバイヤーと有意義な商談をすることができ、道内企業の技術力をインプットすると同時に関係を構築することができました。

**X. その他後援、協力等関連事業**

名 称	開催日	会 場	主 催 機 関	協力 区分
QCサークル大会	2024. 5.23 ～24	函館アリーナ	QCサークル本部	後援
QCサークル大会 (小集団改善活動)	2024. 7.19 2024.10.18 2025. 1. 24	千歳市民文化センター 室蘭市市民会館 札幌コンベンションセンター	QCサークル北海道支部	後援
北洋銀行ものづくり サステナフェア 2024	2024. 7.24	アクセスサッポロ	(株)北洋銀行	後援
メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2024	2024. 7.24 ～26	東京ビックサイト	(一社)日本能率協会	協賛
溶接学会 2024 年度秋季 全国大会北海道支部主催行事	2024. 9. 4 ～6	北海道科学大学	(一社)溶接学会北海道支部	後援
キッズエンジニアinトヨタ自動車 北海道2024	2024. 9. 1	トヨタ自動車北海道(株)	(公社)自動車技術会 北海道支部	後援
キッズエンジニアinデンソー 北海道2024	2024.10.27	(株)デンソー北海道	(公社)自動車技術会 北海道支部	後援
胆振ものづくり産業取引促進 商談会	2025. 2. 13	中島神社蓬峯殿	胆振総合振興局	後援

## ■その他参画・協力等

- ・ 建築基準法第77条関係「性能評価業務」分担(鉄骨部会が(株)全国鉄骨評価機構から受託)
- ・ 北海道若年技能者人材育成支援等事業連携会議(北海道職業能力開発協会)
- ・ 北海道地域電力需給連絡会(北海道経済産業局、道庁)
- ・ 産業振興委員会等(北海道経済連合会)
- ・ 北海道産学官共同研究拠点運営会議(道庁)
- ・ 北海道自動車産業集積促進協議会(道庁)
- ・ INPIT 北海道知財総合支援窓口事業((一社)北海道発明協会)
- ・ (公財)北洋銀行中小企業新技術研究助成基金(北洋銀行スタートアップ研究開発基金:(株)北洋銀行)
- ・ 北海道地方労働審議会(北海道労働局)
- ・ 地域志向人材育成プログラム活用に関する協議会(室蘭工業大学)
- ・ 北海道 BCP 推進会議(北海道経済産業局)
- ・ 「北海道地域産業クラスター形成」連絡支援会議(ノーステック財団)
- ・ 北海道農業機械工業会
- ・ 次世代半導体産業プラットフォーム((一社)北海道新産業創造機構)
- ・ 北海道半導体 人材育成等推進協議会(北海道経済産業局)
- ・ 北海道 DX 推進協働体(ノーステック財団)
- ・ 北海道デジタル人材育成推進協議会(北海道経済産業局)

## XI. 業種別部会事業

次のとおり部会事業を実施しました。

### 1. 表面処理部会

部 会 総 会	5 / 1 5
部 会 役 員 会	4 / 1 8、7 / 1 9、1 0 / 2 2
部 会 例 会	7 / 1 9、1 / 2 4
講 演 ・ 講 習 会	1 2 / 5 【3部会合同】 講師：北海道新聞社経済部編集委員 宇野澤 晋一郎 氏 演題：「ラピダスは本当に大丈夫？懸念から読み解く北海道経済」
視 察 会	3 / 1 2～1 4 沖縄県

### 2. 鉄骨部会

部 会 総 会	5 / 1 7
部 会 役 員 会	4 / 2 5、5 / 1 7、6 / 1 8、7 / 3 0、1 0 / 1 7、1 2 / 1 0、2 / 1 3、 3 / 1 3
学 科 講 習 会	6 / 1 0～1 1、6 / 1 3～1 4、8 / 2 2～2 3、8 / 2 6～2 7
研 修 会	1 0 / 2 4～2 5 全構協北海道支部「人づくり研修」
講 演	1 0 / 1 8 J S C A北海道支部 構造設計交流会 2 0 2 4
検 査 研 究 会	2 / 2 8 基礎技術・最新機器動向等 (セミナー開催)

### 3. サッシ部会

部 会 総 会	5 / 1 6
部 会 役 員 会	3 / 2 7
部 会 例 会	1 0 / 1 8
年 末 交 流 会	1 2 / 1 9
新 年 交 流 会	1 / 3 1

#### 4. 検査部会

部 会 総 会	5 / 1 0
部 会 役 員 会	2 / 2 8
部 会 例 会	7 / 1 0、1 0 / 3
技 術 講 習 会	4 / 2 3～2 6、6 / 2 5～7 / 4、7 / 2 3～8 / 2、8 / 2 0～3 0、 1 0 / 2 3～2 5、1 2 / 3～1 2、1 / 2 3～2 4、2 / 4～1 3
検 査 研 究 会	2 / 2 8 基礎技術・最新機器動向等（セミナー開催）

#### 5. 電機電子部会

部 会 総 会	4 / 1 7
部 会 役 員 会	5 / 2 4、3 / 1 9
情 報 交 換 会	5 / 2 4、7 / 2 5、3 / 1 9
講 演 ・ 講 習 会	1 2 / 5 【3部会合同】 講師：北海道新聞社経済部編集委員 宇野澤 晋一郎 氏 演題：「ラピダスは本当に大丈夫？懸念から読み解く北海道経済」
視 察 会	3 / 1 2～1 4 関西地区（兵庫県・大阪府）

#### 6. 機械製作部会

部 会 総 会	5 / 9
部 会 役 員 会	7 / 8
部 会 例 会	6 / 2 6
講 演 ・ 講 習 会	1 2 / 5 【3部会合同】 講師：北海道新聞社経済部編集委員 宇野澤 晋一郎 氏 演題：「ラピダスは本当に大丈夫？懸念から読み解く北海道経済」
視 察 会	1 1 / 5～6 東京都

#### 7. 自動車関連部会

部 会 総 会	4 / 2 4
部 会 役 員 会	1 0 / 1 1、3 / 7
部 会 例 会	1 0 / 1 2
講 演 ・ 講 習 会	2 / 6 講師：インターステラテクノロジズ(株) 事業開発部 コミュニケーションズ&ブランドグループ 中神 美佳 氏 演題：「民間によるロケット開発の現在地と将来像」
視 察 会	1 1 / 1 9～2 3 タイ王国（バンコク）